

まつり委員会委員長方針

高木 良

委員会日：毎月 15 日前後

=委員会メンバー=

副委員長：郷原 一徳 土屋 竣一

運営幹事：勝野 亮希

会計幹事：水野 一成

委 員：桜井 礼治

<委員長方針>

「おいでん祭」は、社会開発運動の一環として先輩諸兄姉の熱い想いから立ち上げられ、長年にわたり中津川の夏を彩る市民参加型のまつりとして多くの市民に親しまれてきました。しかし近年、時代の変化に伴い、子どもたちの「おいでん祭」への関わり方や価値観は大きく変わり、まつりに携わる機会が減少しています。その結果、団体に所属していなければ、子どもたちがまつりに携わることが難しい状況となっています。このままでは子どもたちが、まつりへの愛着が育まれず、まつりの担い手の減少につながっていくと考えます。だからこそ、本年度、40周年という大きな節目を迎えるにあたり、次代を担う子どもたちがまつりに広く関わりを持ち、愛着を育む機会を創出することが重要だと考えます。

本年度、まつり委員会では、次代の担い手となる人財を創出する推進事業を行います。子どもたちが「おいでん祭」に携わる方々と触れ合う中で、まつりに込められた想いや伝統を知っていただき、主体的に「おいでん祭」に携わる機会を提供してまいります。子どもたちが「おいでん祭」に携わる過程で、楽しさや魅力を実感し、達成感を通じて愛着が育まれると考えます。その経験が、将来の「おいでん祭」を支える力となり、未来へと紡いでいけると信じます。

本年度、40周年を迎える「おいでん祭」では、これまでの先輩諸兄姉が築き上げてきた歴史を重んじ、市民の皆様の願いや想いを新たな試みから「おいでん祭」を通じて形となるよう、関係団体の皆様と連携し、市民の皆様が心から楽しめるまつりとして開催できるよう努めてまいります。

OB交流会においては、中津川青年会議所の活動にご理解とご協力をいただいている特別会員の皆様に、感謝の気持ちをお伝えする場とし、メンバーは、特別会員の皆様から当時の学びを伺うことで、今後のJC活動を行う糧とさせていただきます。

まつり委員会のメンバーには、一丸となって全力で楽しみながら委員会活動に取り組んでいただきたいと考えます。楽しむ中でも、メリハリのある委員会活動を行い、この一年間の活動を通じて、強固な信頼関係を築いていただきたいと思います。そのために、委員長として、一人ひとりの役割を明確に示し、自覚と責任を持って活動できる環境を整えることで、メンバー自身が成長を実感できる一年となるよう努めてまいります。

<事業計画>

- ・おいでん祭の推進
- ・おいでん祭の開催
- ・O B交流会の開催

<事業予算>

250,000円
0円
90,000円